

余市町観光地域づくり協議会

(農泊・教育旅行)

後志総合振興局



【協議会の特徴・理念】

農業・漁業・文化財施設のほか、ウイスキーやワインなど複数の観光資源を組み合わせた多彩なメニューの提供など、宿泊者数の増加に向けた取り組みを実施。町全体を宿と見立てるイタリアの民泊による集落再生(アルベルゴディフーズ)を目指す。

【地域の概要】

① 自然環境

ニセコ積丹小樽海岸国定公園の一部で美しい景観、遺跡等の文化財など観光資源が豊富。

②人口

余市町18,344人



③主な産業

○観光業

テレビ小説「マッサン」の放送をきっかけに、観光客が100万人台に増加。果樹園及びワイナリーが多数あり、多くの観光客が訪れる。

○農業

果樹の栽培が明治初期から試みられた結果、りんご、ぶどう、梨などの生産では全道一。また、11ワイナリーを有する道内屈指のワイン産地。

○漁業

えび、いか、かれい漁などがさかんに行われ、また北限の鮎の生息地でもあります。

④イベント等

・味覚の祭典「よいち大好きフェスティバル」

・余市のワインde冬のワイン会

・北海ソーラン祭り

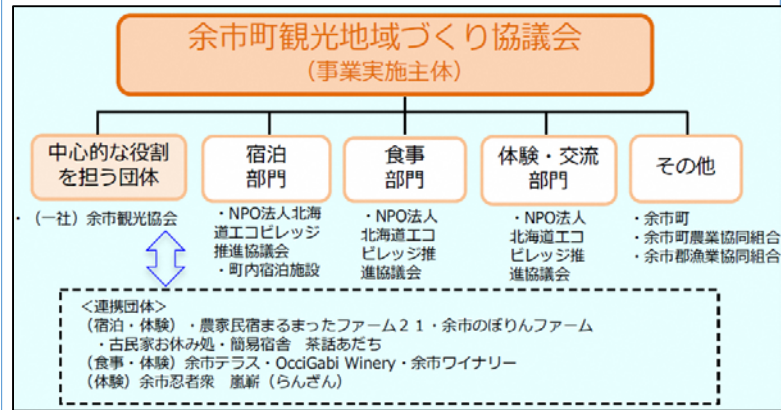


【協議会の概要】

① 設立年

2018年設立

② 構成員・代表者（又は団体）



③協議会設立の経緯（きっかけ）

札幌市から日帰り圏であるため、典型的な通過型観光になっていたが、滞在型の農作業体験による都市との交流を進め、販路拡大による農家所得の向上、農業の6次産業化を推進、持続可能な体制の強化のため、域協議会を設立。

④活動内容

農業・漁業・文化財、ウイスキーやワインなど複数観光資源を組み合わせた多彩なメニューの提供など、宿泊者数の増加に向けた取り組みを実施。

⑤現在の課題

1泊2日の農泊メニューは完成したが、それを販売するための効果的なPR等マーケティング戦略を行う人材の確保が必要。

【主なコンテンツの種類及び実績】

①宿泊者数（人）

年度	ホテル	旅館	民宿	ゲストハウス	延べ宿泊数
H29	21,310	578	1,281	2,215	25,384
H30	20,511	570	1,135	3,327	25,543
R1	18,333	728	855	1,047	20,963

②体験者数（人）

年度	漁港散策体験	ワイナリー見学体験	ワインぶどう畑でかんぱいツアー	寿司握り体験	ウニ剥き体験	忍者体験	陶芸体験	合計
H29								
H30								
R1	14	10	検計期間	14	8	6	4	56
R2	24	2	20	4	2	2	0	54

※R2年度は8月から10月17日までの約80日間の統計

※観光客数は回復傾向、しかし外国人観光客数の回復は未知数

③利用状況

【利用形態】

・道外客 39% ・道内客 61%
(内外国人客 7%)

【利用者の声】

- ・ミニ援農隊（りんご収穫）など貴重な体験ができ良かった。
- ・ワイナリー巡りが興味深かった。
- ・余市港のトイレが綺麗で良かった。
- ・漁港散策が珍しく、大変面白かった。
- ・空気が美味しくてワイナリーやニッカが素敵。
- ・各体験の説明者の話がとてもわかりやすく良かった。

【特徴的な取組】



わくわく余市体験#1
ワイナリーを訪問しよう



わくわく余市体験#2
余市スイーツを作ろう



わくわく余市体験#3
握り寿司を作ろう



わくわく余市体験#4
忍者の技を学ぼう



わくわく余市体験#5
余市漁港を散策しよう



わくわく余市体験#6
ワイン畑でピクニックをしよう



わくわく余市体験#7
陶芸を始めよう



わくわく余市体験#8
ぶどう畑で冬のスノーシューしよう



わくわく余市体験#9
ウニを剥いて食べよう

【宿泊に関する取組】

- タブレットを活用し、余市町内にある宿泊施設14軒（ホテル・旅館6軒、民宿等8軒）の予約状況を一元化。余市観光協会が管理することでコーディネート機能を拡充。
- リンゴ農家民宿に泊まって果樹栽培の歴史を学んだり、北海道産の木材や古材を使った一棟貸の宿泊施設で地元住民との交流を楽しむ宿泊プランを販売。



農家民宿まるまったファーム

【体験に関する取組】

- ニッカウキスキーだけでなく、ニシン漁の歴史を今に伝える「旧余市福原漁場」、江戸時代からある運上家では唯一とされる「旧下ヨイチ運上家」などの文化財施設、余市の海産物を使った寿司握り体験、果樹園で収穫した果物の加工体験などを組み合わせた滞在型商品を販売。
- 町内には11軒のワイナリーがあり、国内で有数のワイン産地。収穫体験だけでなく、冬はスノーシューでブドウ畑散策など四季ごとのワイナリーの楽しみ方を提供。



冬のワイナリーツアー

【PRに関する取組】

- 余市町の魅力をまとめたミニ冊子を作成し、観光客に余市町を知ってもらうとともに、子供たちをはじめ、地域住民が歴史や産業、農泊推進の柱となる体験観光メニューなど地域の魅力を知ることによって地元への誇りを持ってもらい、観光客をガイドしながら一緒に楽しむ体制を構築。



ミニ冊子「PATHFINDER」

【連絡先】

代表窓口：余市町観光地域づくり協議会

（事務局：一般社団法人余市環境協会 事務局長 伊藤 二郎 TEL 0 1 3 5 - 2 2 - 4 1 1 5 E-mail info@yoichi-kankoukyoukai.com ）